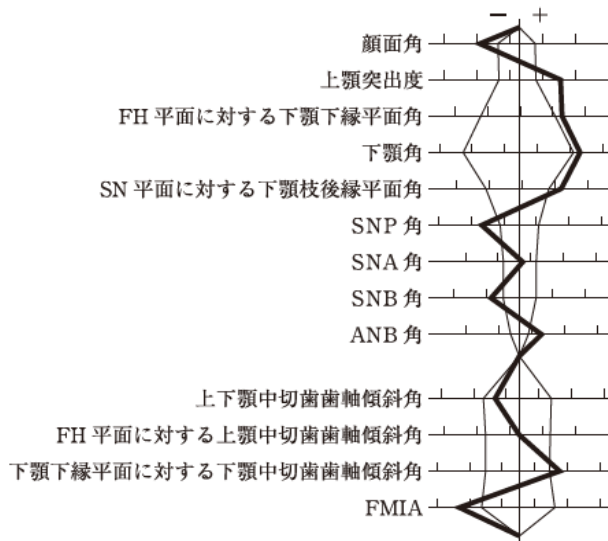


第118回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 55 問

55 16歳の女子。顔の歪みを主訴として来院した。出生時に先天性疾患の診断を受けている。2]、5]に欠如歯を認める。Arch length discrepancy は上顎-5mm、下顎-2mmであった。重度の顔面非対称と診断し、外科的矯正治療を行うこととした。上顎はLe Fort I型骨切り術で咬合平面の傾きを是正し、下顎は右側に下顎枝矢状分割術、左側に骨延長術を行う予定とした。初診時の顔面写真(別冊No. 14 A)、口腔内写真(別冊No. 14 B)及び3D-CT(別冊No. 14 C)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



術前矯正治療で行うのはどれか。2つ選べ。

- a 下顎右側白歯の挺出
- b 下顎左側白歯の頬側傾斜
- c 上顎右側白歯の舌側傾斜
- d 非抜歯による歯列のレベリング
- e 4]、5]の抜歯による歯列のレベリング

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。